会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 専修学校における自己点検・評価の結果の相互検証、共通的評価基準モデルの開発と運用 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第1回共通基盤整備委員会 |
| 開催日時 | 令和2年8月3日（月）　10時00分～12時00分 |
| 場所 | オンライン会議 |
| 出席者 | 事業責任者：高岡信吾 委　員：林　宏冶、岡村　慎一、佐藤　昭宏、川端　康浩、増子　卓矢　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計6人 |
| 議題等 | 1.委員長あいさつ（林）2.委員紹介（各委員）3.令和2年度文科省委託事業の概要（岡村、林）　・全専研としてスタッフ要請事業、教員研修プログラム開発事業と本事業の3事業を文科省から受託した。・本年度は、自己点検・評価標準モデルプロトタイプ版開発と第三者評価に関する実態調査を実施する。・開発したモデルや実態調査結果を広く普及するためにセミナーや成果報告会の開催やHP等による情報を公開する。　4.意見交換・自己点検・評価モデルの開発は、全専研会員が実施している自己点検・評価をベースにして調査を実施する。・自己点検・評価モデルを導入すことにより、各校で実施している教育改善がロジカルにエビデンスをもって実施できることを目標とする。・今年度の第3者評価関連調査は、評価機関の区分や評価内容・方法等について調査し、次年度実施をする調査の基礎資料を作成する。・文科省委託事業として、当会以外でも質保証・向上をテーマとした事業が実施されており、双方の成果を共有し、本事業の成果を改善する。・評価委員会は、本事業の実態調査WGが実施する調査の結果について第3者的な立場で意見する。また、場合によっては合同委員会等の実施も視野に入れ知見を共有する。・本事業の成果の普及はセミナー、成果報告会、HPを計画しているが、具体的な実施方法や時期は、新型コロナウイルスの感染の状況を視野に入れ、普及促進ワーキンググループにて検討する。5.スケジュール確認（林）・第2回委員会は、他のワーキンググループの進捗見ながら調整する。（事業計画上は11月）・第1回実態調査ワーキンググループを9月3日or17日に開催予定。 |
| 配布資料 | ・事業計画書 |

以上